

第3回 南魚沼市地域公共交通協議会 次第

令和8年7月17日 13時30分
南魚沼市図書館 多目的室

1 開会

2 協議事項

(1) A I オンデマンド交通（実証運行）のエリア拡大について

(2) その他

3 閉会

A I オンデマンド交通（実証運行）のエリア拡大について

令和 8 年 4 月から上田地区で実証運行を開始した A I オンデマンド交通の運行区域を拡大し、令和 8 年 10 月から六日町地域及び塩沢地域で実証運行を開始します。

1 態様

（１）市民バスの以下の路線を令和 8 年 9 月末で廃止

- ・城内コース
- ・五十沢・大月コース
- ・大巻・泉コース
- ・石打・竹俣コース
- ・中之島・吉里コース

※上記の路線は道路運送法第 4 条に基づき一般乗合旅客自動車運送事業（路線定期運行）として運行している。

（２）以下の運行区域に新たな公共交通を新設

- ・上田・中之島区域
- ・城内・五十沢区域
- ・六日町・大巻区域
- ・石打・塩沢区域
- ・全域区域（六日町地域及び塩沢地域）

※上記の路線は道路運送法第 21 条に基づき一般貸切旅客自動車運送事業又は一般乗用旅客自動車運送事業による乗合旅客運送（路線定期及び区域運行）として運行する。

※実証運行終了後は道路運送法第 4 条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業（路線定期及び区域運行）への移行を目指す。

2 運行内容

朝夕の時間帯は路線定期で運行し、日中の時間帯を区域運行（A I オンデマンド交通）で運行する。

（１）路線定期運行

※令和 8 年 4 月から運行している内容と変更なし

①路線図

別紙 1 のとおり

②時刻表

別紙 2 のとおり

（２）区域運行（A I オンデマンド交通）

①運行区域

- ・別紙 3 のとおり
- ・「上田・中之島区域」、「城内・五十沢区域」、「六日町・大巻区域」、「石打・塩沢区域」

に共通の区域として「六日町市街地区域」を設定する。

- ・「上田・中之島区域」、「城内・五十沢区域」、「六日町・大巻区域」、「石打・塩沢区域」の全ての区域を運行する「全域区域」を設定する。

②運行時間

8:30～17:30

③運行日

週5日（月・火・水・木・金）、12月29日、30日

祝日と12月31日～1月3日は運休

※12月29日、30日は土曜・日曜・祝日でも運行

④運行方式

運行区域内で予約に応じて停留所から停留所の間を乗合で運行する。

⑤停留所

- ・路線定期運行により運行していた市民バス及び路線バスの停留所を概ね踏襲
- ・停留所間の距離が概ね300メートルとなるように配置
- ・主な商業施設、医療施設、公共施設に設置

⑥予約期限

乗車の1週間前から30分前まで

3 運行事業者、車両

運行区域	運行事業者	車両	台数
上田・中之島区域	銀嶺タクシー 株式会社	トヨタ ハイエース コンピューター 14人乗り	1台
城内・五十沢区域			1台
六日町・大巻区域			1台
石打・塩沢区域	マルカタタクシー 合資会社	トヨタ ハイエース 10人乗り	1台
全域区域			1台

4 運賃

運賃、運賃割引（小学生、障がい者等）、その他各種の割引については本協議会の分科会である運賃協議会分科会で別途協議を行う。

5 愛称

MOSS B

6 運行開始予定

令和8年10月1日（木）から

上田地区におけるA I オンデマンド交通の実証運行の状況

1 登録者数（6月末時点）

	人数
アプリ登録者数	462
電話登録者数	136
計	598

※アプリ登録者には、実際の予約方法が電話予約の人も含まれる

2 乗車人数

	期間	4月	5月	6月	計
AI オンデマンド	乗車人数	421	454	515	1,390
	1日平均乗車人数	20.0	25.2	23.4	22.8
市民バス	乗車人数	158	164	155	477
	1日平均乗車人数	7.5	8.2	7.4	7.7

※市民バスは上田・泉田コースの令和7年4月～6月の数値

3 予約方法

アプリ予約が全体の58%（6月末時点）

4 乗り合いの割合

72.9%

※他の予約と共有する乗車時間がある予約の割合

5 よく利用されている目的地（6月分）

順位	目的地
1位	六日町駅前・ショッピングセンターララ
2位	コメリ・原信
3位	南魚沼市民病院

事務局長	事務局次長	係 長	係

議 事 録

件 名	令和8年度第3回 南魚沼市地域公共交通協議会		
日 時	令和8年7月17日（金）13：30～14：30	場 所	南魚沼市図書館 多目的室
委 員：	小高副会長（南魚沼市副市長）、佐野副会長（長岡技術科学大学大学院）、見留委員（南魚沼市企画政策課）、遠藤委員（南魚沼市U＆Iときめき課）、高野委員（南魚沼市福祉課）、関委員（南魚沼市学校教育課）、金井委員（南魚沼市民病院庶務課）、石川委員（南魚沼地域振興局企画振興部）、近藤委員代理：皆川主任（南魚沼警察署）、中島委員（東日本旅客鉄道株新潟支社 越後湯沢駅）、桑原委員代理：小嶋取締役経営管理部長（北越急行株）、関委員（南越後交通バス株）、貝瀬委員（南魚沼市タクシー安全協議会）、土田委員（南魚沼地域振興局計画調整課）、遁所委員（南魚沼市建設課）、吉岡委員（国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局）、駒形委員（委員（東地区地域づくり協議会）、高橋委員（身体障がい者協会理事）、八木委員（南魚沼地域商工会連絡協議会）、庭野委員（南越後観光バス株労働組合）		
欠 席：	林会長（南魚沼市長）、吉田委員（南魚沼市観光戦略課）、小出委員（国土交通省長岡国道事務所）、大村委員（国土交通省北陸信越運輸局交通企画課）、上村委員（上田ふるさと協議会）、山口委員（五十沢地域づくり協議会）、本多委員（南魚沼市社会福祉協議会）、湯本委員（一般社団法人南魚沼市観光協会）		
事 務 局：	建設部：南雲部長 建設部交通政策室：梅澤室長、松井係長、大津、平岩		
協 議 内 容			
1 開会			
事 務 局（松井）：	これより令和8年度第3回南魚沼市地域公共交通協議会を開催する。 8名の方が欠席となっている。協議会規約に規定されている過半数以上の出席をいただいているので、本日の協議会の成立を報告する。 開会にあたり、副会長である小高副市長より挨拶をいただく。		
議長（小高副市長）：	（あいさつ）		
2 協議			
議長（小高副市長）：	次第に基づいて会議を進める。 協議事項1、A I オンデマンド交通（実証運行）のエリア拡大について、事務局から説明をお願いする。		
事 務 局（大津）：	（協議事項1について、資料No.1に基づき説明）		
議長（小高副市長）：	協議事項1について、質問、意見はないか。		
委 員 一 同：	意義なし（承認）		
事 務 局（松井）：	報告事項1、上田地区におけるA I オンデマンド交通の実証運行の状況について、事務局から説明する。		

事務局（大津）：	（報告事項1について、資料No.2に基づき説明）
事務局（松井）：	報告事項1について、質問、意見はないか。
佐野副会長：	今まで使っていた方の頻度が高くなった、今まで使っていなかった方が使い始めたという2つがあると思うが、どのような状況か。
梅澤室長：	朝夕の定時定路線については今まで市民バスや路線バスを使っていた方が使っているようだ。一方、日中の時間帯は新たな利用が増えている状況だ。具体的な数字は把握できていない。
佐野副会長：	コスト的には市民バスのときと比べてどうか。
事務局（大津）：	日中の時間帯については市民バスがA I オンデマンドに切り替わっているだけであり、物価高騰や人件費の増を除けば変わらない。そこに、朝夕の時間帯で路線バスの運行を引き継いだことによる費用が加わっている。
佐野副会長：	路線バスにかかっていた費用が従来と現在でどのように変化しているのか、可能であれば次回でよいので教えていただきたい。 乗り合いの割合（件数ベース）が72.9%ということですからかなり高い。便でいうと、乗合いが発生しているのはどれくらいか。
事務局（大津）：	1つの便が終わる前につぎの乗車が始まる場合があり、計算することができない。
佐野副会長：	乗合を高める工夫を説明してもらいたい。
事務局（大津）：	高校生が同じ時間で乗車しているため乗合を高める原因となっている。他の要因として、意図したわけではないが現在は上田地区で1台の車両で運行しておりバスに乗るとしたらそれしかないという状況であり、それに皆さんが乗り合わせて乗車している。
佐野副会長：	本格運行に向けて、乗合を高める工夫などもしながら取り組んでももらいたい。
金井委員：	資料にある乗車人数は定時定路線も含むものか。
事務局（大津）：	A I オンデマンドの人数のみとなっている。定時定路線は1か月に約300人の乗車がある。
金井委員：	市民病院に行っている人で、延べ人数ではなく個人として何人いるのか教えてもらいたい。
事務局（大津）：	集計して後ほどお伝えする。
吉岡委員：	抱えている課題とそれに向けた改善策があれば説明してもらいたい。
事務局（梅澤）：	バスの運行ルートによって乗車する停留所が変わってしまうということがあった。電話予約の方については停留所を固定するとか、バスが到着する時間帯の幅を短くすることで予約の際にお伝えする時刻で乗車できるように工夫している。
関委員：	中学校では部活動を地域に移す取組みを進めている。今年度は土日の活動を完全に地域に移す予定である。保護者から土日の部活動でA I オンデマンドを使いたいという要望が届いている。今後は、平日の部活動を地域に移す取組みを始めるところだが、そうすると19時から21時くらいの部活動が増えてくる。特に部活動が始まる19時くらいの送迎が大変だという声がある。今後、それらの時間帯への拡充は可能か。
事務局（大津）：	運行エリアについては部活動の地域への移行を考慮して設定しているところ。運行時間については、説明した案のものは1人の運転手が労働基準法の許容範囲の中

で運行できる限界となっており、これより遅い時間帯を運行するには2人目の運転手が必要となる。土日についても運行事業者と協議をしているが運転手不足のため難しい。令和9年4月に再度エリアの拡大を予定しており、そのタイミングで運行時間の拡充が可能か検討する。

高 橋 委 員 : 障がいのある方で予約をするときに、その時間は空いていないと言われると臨機応変に対応できないので予約ができない方がいる。また、バスが到着する時間がコースによって変わるので何時にバスが到着するのかわからなかったり、バスが先に出発してしまったこともあった。乗車できなかった方は少なかったとのことだが、数に表れていない方もいると思われる。

高 野 委 員 : 補足だが、暗数があるという意見かと思う。特に自閉症スペクトラム障害のある方は予定や時間の変更非常に脆弱である。今のやり方で全て解決できるかというところもある。全てMOSSで解決すべきなのかということもあるが、可能な限り配慮していただければと思う。

事務局（梅澤）: 障がい者の方については色々な声をいただいております、改善のため協議を進めてきた。運行時間を30分早めたのも予約が取りやすい環境を整えるためのもの。コールセンターの対応についてもご意見をいただいているので今後対応していきたい。

関 委 員 : 今回の運行区域拡大に伴い、路線バス野中線、山口線の運行を見直す。MOSSが運行する日中の時間帯を減便し、野中線は現在の4.5便から3便に、山口線は6便から3便に変更する予定で、両路線とも平日のみの運行となる。今後は朝夕の通勤・通学の時間帯を中心とした運行となる。

また、路線バス六日町～湯沢線について、南魚沼市と湯沢町からの要望を受け、市民病院と六日町駅前への乗入れを計画している。実現した際には是非多くの方からご利用いただきたい。

最後に、今年1月から1部の路線でキャッシュレス決済を導入している。クレジットカードのタッチ決済を中心としたものである。現在は南魚沼市内では石打地区で運行している1部の路線のみとなっているが今後は拡大予定である。是非ご利用いただきたい。

事務局（松井）: 本日の議題の他に質問、意見はないか。

委 員 一 同 : なし

3 閉会